

第5版への序文

整数論の研究に従事したロシア人数学者は、Tschebyscheff¹⁾, Kor-kin, Zolotarev, Markov, Voronoï, その他である。これら著名な学者達の古典的な仕事の内容は、B. N. Delone の《整数論のペテルブルグ学派》²⁾に見られる。

整数論の分野で研究しているソ連の数学者は、これら先人の輝かしい伝統をうけついで、数々の一流の結果を得るのに役立った新しい強力な方法を創造した。《ソ連邦における30年間の数学》³⁾の整数論編には、この分野におけるソ連の学者達の成果および対応する文献資料が紹介されている。

本書においては、整数論の基礎が、大学の課程の範囲内で、系統的に述べられている。ぼう大な量の問題によって、読者は整数論におけるある新しい考えに導かれるだろう。

この第5版は、第4版とかなり違っている。すべての章にわたって多くの変更が加えられていて、説明の著しい簡単化を助けている。特に大きい変更は、第4章と第5章を一つにまとめて第4章としたこと（そのために、章の数は六つに減った）と、原始根の存在の新しいずっと簡単な証明とである。

各章の終りの問題もすっかり作り直した。問題の順序は、今度は、理論的な事柄の配列の順序と完全に一致するようにした。新しい問題がいくつか加わったが、その番号の数はずっと減った。それは、前には独立の問題だったものを、解法や内容の近いものは **a, b, c, …** として一問題にまとめたからである。問題の解答も再検討した；簡単にし改良したも

-
- 1) もとの綴は Чебышев. 最後の e の発音は ë であるから、これはチェビシエフと読むべきである。
 - 2) Б. Н. Делоне : Петербургская школа теории чисел. М.—Л., Изд. АН СССР (1947).
 - 3) Математика в СССР за тридцать лет, 1917–1947. М.—Л., ОГИЗ Гостех (1948). 最近, ソ連邦における40年間の数学, 第一巻 : Математика в СССР за сорок лет, 1917–1957. Том 1. Обзорные статьи. М., Физматгиз (1959) が出版された。

のがかなりある。特に著しく変えたのは、 n ベキ剰余と非剰余の、および原始根の分布に関する問題と、対応する trigonometrical sum の評価に関する問題とである。

I. M. Vinogradoff